

令和5年度 3年3組 学級経営案

学校教育目標

豊かな心を持ち、自ら進んで学び、心身ともにたくましく生きる西原の子どもを育てる。

めざす子ども像

〔やさしく〕

気持ちよいあいさつをする子
自分と友達のよさが分かる子

〔かしこく〕

よく考え、進んで学ぶ子

〔たくましく〕

楽しく運動し、目標をもって体力・気力の向上に最後までがんばる子

3年3組学級経営

学級経営目標	みんなで元気に、互いを思いやり、楽しく学び合う子どもを育てる。		
学級重点目標	1	基本的な生活習慣を身に付け、友達と仲良く助け合い思いやりの心をもつ子どもを育てる。	
	2	運動することの楽しさを知り、自分なりの目標をもって意欲的に体力づくりに取り組む子どもを育てる。	
	3	学習のきまりを理解し、互いに助け合いながら、分かる喜びと学ぶ楽しさを味わうことができる子どもを育てる。	
	4	学級だより(週報)や学級PTA等で、児童の様子を伝え、保護者との連携を図り、子どもの健全育成に努める。	
学級経営の具体策	I 豊かな心と健やかな体	1	道徳の時間を充実させ、互いに励まし合いながら、きまりやルールを守ろうとする子どもの育成を図る。
		2	友達と声をかけあいながら、係活動や当番等の与えられた仕事を最後まで行うことができるようにする。
		3	計画的な教育相談(保護者・児童)を実施し、児童の実態や変容に気づき、保護者と連絡を取り合いながら一人一人が楽しい学校生活を送れるようにする。
		4	家庭と連携を取り、基本的な生活習慣(早寝・早起き・朝ご飯)の定着と、「ハチツボネブ」の徹底を図る。
		5	昼休みはなるべく外で遊ぶように声をかけ、目標をもって継続して運動に取り組めるようにする。
		6	不審者や交通安全に対する意識を高めるために、身近な事柄を紹介し、具体的な場面での指導を行い、不審者対応や交通安全等危険予知能力の向上を図る。
	II 確かな学力と個性の伸長	1	学び合いの姿勢を身に付けさせ、基礎・基本の定着を図るとともに、自らの意見や考えを積極的に発表することができる授業作りに努める。
		2	読み聞かせを実施したり、本の紹介をしたりして本の良さに気付かせ読書の習慣化を図る。
		3	家庭と連携を図りながら、やり直しまで見届けを行い、基礎学力の定着を図る。
	III 信頼される学校づくり	1	学級通信や学級PTA、電話連絡等で学校の様子を伝えるなどして、連携を図る。
		2	全保護者と教育相談を実施し、相談しやすい雰囲気づくりに努め、子どものよりよい成長に向けて支援する。
		3	子どもの地域行事等への積極的な参加を呼びかけ、学校が地域の方に支えられていることに気付かせる。